

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	埋蔵文化財整理室・収蔵施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	発掘調査で出土した遺物や図面・写真等の記録類を整理・保管する場所	意図	埋蔵文化財の発掘調査の整理作業が円滑に進められるようにする。出土遺物や記録類を整理・保管する。
事業内容	埋蔵文化財整理室・収蔵庫を維持管理し、必要に応じて修繕し、整理作業員が円滑に作業が進められる環境をつくる。出土遺物を適正に収納し、また図面・写真等の適切な保管場所をつくる。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和56年度に旧職員寮が埋蔵文化財整理室とされ、昭和63年度にはプレハブ庁舎を移設して加整理室ができ、その後八木中→八木南小を加えて使用してきた。収蔵施設は、収納遺物の増加に伴いその都度増設し、現在市内に7棟が散在している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	埋蔵文化財整理室数	3	3	3	棟	→→
②	埋蔵文化財収蔵庫数	7	7	7	棟	→→	
③	遺物収納コンテナ数	11284	11433	11618	箱	→→	
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財整理室 流山北小学校整理室 八木整理室 ※児童増加により代替施設が必要 収蔵庫7棟 (南流山3・古間木・高架下・八木南小・西深井小) 市内に散在 管理・使用上支障有 収蔵率が100%に近い。 ※代替施設・追加施設は、一括収蔵できる施設が必要
事務事業の総コスト(a=b+c)	5,216,114	4,548,800	3,815,591	
事業費(b)(円)	1,451,114	1,116,300	1,130,791	
うち一般財源	1,451,114	1,116,300	1,130,791	
職員給与費(c)(円)	3,765,000	3,432,500	2,684,800	
人役・職員(人)	0.50	0.50	0.40	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	恒久的な埋蔵文化財整理室・収蔵庫の確保。	③取組の課題	収蔵施設の集約化を検討する。
②今年度(H29)に実施した取組	移転候補地の調査は行ったが、実現できなかった。	④今後(H30以降)の改善計画	市有施設の有効利用を踏まえ、常・仮設を問わず施設の確保に努める。